令和7年度全国学力·学習状況調査結果

令和7年7月

川西市教育委員会

1. 調査の概要

- (1) 調査の目的
 - ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習 状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そ のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ・本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側 面である。 (令和7年度実施要領より)

(2) 実施日 【小学校】国語・算数・理科 : 令和7年4月17日 (木)

質問 : 令和7年4月18日(金)~30日(水)

【中学校】国語・算数:令和7年4月17日(木)

理科、質問:令和7年4月14日(月)~17日(木)

(3) 対 象 小学校調査 (小学校第6学年)、中学校調査 (中学校第3学年)

(4) 調查内容

- ・教科に関する調査(小学校は、国語、算数、理科。中学校は、国語、数学、理科。) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項。出題内容は、以下のと おり。
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- ・調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に 関する質問調査、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育 条件の整備の状況等に関する質問調査。

(6) 市内の参加状況

■ 小学校実施人数(16校)

国語1,196名算数1,195名理科1,195名児童質問紙1,202名

■ 中学校実施人数(7校)

国語1,131名数学1,132名理科1,144名生徒質問紙1,150名

(7) 調査結果の取扱いについて

本調査の結果を教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であり、序列化や過度な競争が生じないよう留意する。調査結果の状況については、文部科学省国立教育政策研究所の報告書において、「平均正答率の±10%の範囲内にあり、大きな差は見られない」と表現している。本市においても、市全体の結果を把握・検証することで、教育施策や教育実践の改善につなげていくことを基本理念とし、公表資料を作成するものとする。

2. 教科に関する調査結果の概要

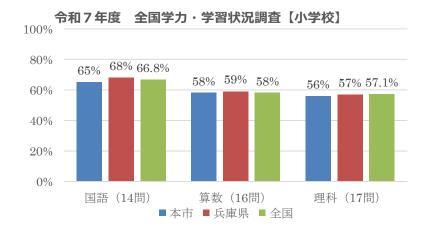
令和7年度全国学力・学習状況調査における川西市の平均正答率と全国(公立)の平均正 答率の状況については、以下のとおりである。(国は小数第1位までの公表)

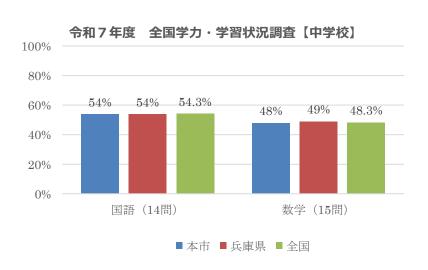
【小学校】

- 国語 は65% (兵庫県比-3、全国比-1.8)
- ·算数 は58% (兵庫県比-1、全国比±0)
- ・理科 は56% (兵庫県比-1、全国比-1.1)

【中学校】

- ・国語 は54% (兵庫県比±0、全国比−0.3)
- 数学は48%(兵庫県比-1、全国比-0.3)
- ・理科 は3問(兵庫県比+0.1、全国比+0.1) ※国の発表に準じて正答数





3. 質問紙調査の結果(児童生徒質問紙)

市教育委員会では、児童生徒質問紙調査を活用し、学習意欲、学習方法、学習環境、 生活の諸側面等に関する項目から、学力との関係性が伺える項目をピックアップし、 経年比較を行っている。

今年度取り上げられていない質問項目についても、今後、一定のサイクルで質問紙調査に掲載されることが予想される。そのため、児童生徒の変容をみていくため、「該当なし」として掲載している。

なお、川西市・全国の数値は「肯定群」である。「肯定群」とは、選択肢の「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」、「している・どちらかといえばしている」など、肯定的な項目を選択している場合を表している。(単位は%)

「肯定群」で表記できない質問紙においては、質問紙項目ごとに、選択肢を記載している。(単位は%)

基本的な生活習慣

内 容	区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度 全国
朝食を毎日食べている	小学校	93.4	94.3	96.1	93.7
初及を再口及べている	中学校	93.4	91.7	92.0	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝て	小学校	82.2	84.0	80.6	81.9
いる	中学校	81.4	80.9	76.1	81.0
毎日、同じくらいの時刻に起き	小学校	92.8	91.0	91.4	91.0
ている	中学校	92.7	93.0	90.9	92.6

挑戦心,達成感,規範意識,自己有用感等,幸福感

内 容	区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度 全国
自分には、よいところがあると	小学校	87.8	81.0	83.4	86.9
思う	中学校	82.0	78.9	77.5	86.2
人が困っているときは、進んで	小学校	92.8	92.2	90.9	93.7
助けている	中学校	87.7	88.6	85.8	90.9

いじめは、どんな理由があって	小学校	97.5	96.4	95.0	97.2
もいけないことだと思う	中学校	95.0	95.9	94.5	95.9
困りごとや不安がある時に、	小学校	69.5	70.7	69.2	70.6
先生や学校にいる大人にいつ でも相談できる	中学校	69.3	63.3	63.8	73.2
人の役に立つ人間になりたい	小学校	96.7	96.7	96.4	96.4
と思う	中学校	95.6	95.3	94.6	96.6
普段の生活の中で、幸せな気	小学校	94.7	93.1	91.4	93.0
持ちになることはどれくらいあ りますか	中学校	92.0	88.8	86.0	91.6

学習習慣·学習環境等

内 容	区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度 全国
家で、自分で計画を立てて勉	小学校	該当なし	該当なし	64.4	該当なし
強をしている	中学校	該当なし	該当なし	52.3	該当なし
= 士 書 (土 47 ナ 4 よ ^)	小学校	71.8	該当なし	72.9	69.7
読書は好きだ	中学校	58.5	該当なし	65.6	61.6
学校の授業時間以外に、普段 (月~金曜日)、1日当たり、1 時間(小学校)/2時間(中学 校)勉強をしているか(学習塾	小学校	49.6	48.9	50.7	54.0
で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	中学校	36.3	37.0	36.5	30.8
学校の授業時間以外に、普段 (月~金曜日)、1日当たり30 分以上、読書をしている(教科	小学校	該当なし	該当なし	39.5	該当なし
書や参考書、漫画や雑誌は除く)	中学校	該当なし	該当なし	27.5	該当なし

ICT を活用した学習状況

①児童質問の結果

内 容	区分	ほぼ毎日 (1日に複数の 授業で活用)	ほぼ毎日 (1日に1回くら いの授業)	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
小学校 5 年生までに受けた授業で、PC・タブレットな	小学校	15.0	18. 1	24.6	24.4	13.1	4.8
どの ICT 機器を、どの程度 使用しましたか	全国	24.5	22. 2	25.0	18.0	7.2	3.1

内 容	区分	1	2	3	4	5	6
学校の授業時間以外に、 普段(月曜日~金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、 PC・タブレットなどのICT機	小学校	3.2	4.3	9.1	20.5	31.4	31.3
器を、勉強のために使って いますか(遊びなどの目的 に使う時間は除きます)	全国	4.0	4.6	11.0	22.9	32.0	25.4

- 1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない

②生徒質問の結果

		ほぼ毎日	ほぼ毎日				
内 容	区分	(1日に複数の	(1日に1回くら	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
		授業で活用)	いの授業)				
中学校 1,2 年生のときに受		00.0	07.4	27. 6	15.6	4.0	0.1
けた授業で、PC・タブレット	中学校	23.2	27.4	27.0	13.0	4.0	2.1
などの ICT 機器を、どの程	△ 🗷	00.5	00.7	00.0	15.7	F 0	0.0
度使用しましたか	全国	29.5	23.7	23. 3	15.7	5.3	2.0

内 容	区分	1	2	3	4	5	6
学校の授業時間以外に、普段 (月曜日~金曜日)、1日当た りどれくらいの時間、PC・タブレ	中学校	1.7	2.3	8.7	17.8	34.3	32.3
ットなどの ICT 機器を、勉強の ために使っていますか(遊びな どの目的に使う時間は除きま す)	全国	2.7	3.2	7.8	17.9	35.9	30.3

- 1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

内 容	区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度 全国
小学校 5 年生まで/中学校 1,2 年生のときに受けた授業で、 自分の考えを発表する機会で は、自分の考えがうまく伝わる	小学校	60.4	57.0	57.0	68.6
は、自力の考えがりまく伝わる よう、資料や文章、話の組み立 てなどを工夫して発表していた と思う	中学校	50.8	48.3	51.2	63.0
小学校 5 年生まで/中学校 1,2 年生のときに受けた授業で は、課題の解決に向けて、自	小学校	78.2	79.5	77.9	80.3
分で考え、自分から取り組んでいたと思う	中学校	71.2	70.8	76.5	77.7
小学校 5 年生まで/中学校 1,2 年生のときに受けた授業では	小学校	80.2	79.2	78.7	83.4
自分にあった教え方、教材、学 習時間などになっていた	中学校	72.5	74.7	72.1	79.3
学級の友達との間/生徒との 間で話し合う活動を通じて、自 分の考えを深めたり、新たな考	小学校	83.5	83.0	79.6	84.9
え方に気付いたりすることができている(令和5年度まで波線 おは、広げたりすることができている)	中学校	79.7	80.8	76.6	84.7

学習に対する興味・関心や授業の理解度等

内 容	区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度 全国
算数/数学の勉強は大切だと	小学校	該当なし	94.1	95.2	該当なし
思う	中学校	該当なし	86.6	80.4	該当なし
算数/数学の授業の内容はよ	小学校	79.6	84.1	81.3	78.3
く分かる	中学校	70.8	76.5	73.0	70.3
マラ の	小学校	該当なし	92.9	93.8	該当なし
国語の勉強は大切だと思う	中学校	該当なし	89.7	88.2	該当なし
国語の授業の内容はよく分か	小学校	84.2	88.1	82.7	82.8
	中学校	68.3	79.1	76.2	77.0
理科の勉強は好きである	小学校	82.4	該当なし	該当なし	80.1
連件の心理は好さでのも	中学校	64.2	該当なし	該当なし	63.8
理科の勉強の内容はよく分か	小学校	90.9	該当なし	該当なし	88.9
	中学校	76.3	該当なし	該当なし	71.4
英語の勉強は大切だと思う	中学校	該当なし	該当なし	88.6	該当なし
英語の授業の内容はよく分かる	中学校	該当なし	該当なし	69.7	該当なし